スポーツみらい
2020年
12月30日【赤口】月曜日
みらい新聞社
899−2311
鹿児島県日置市
東市来町養母6586−1
No.３２２号
SPORTS MIRAI
https://www.miraispo.co.jp ※このURLはなんちゃってです。

スポーツ
みらい

11月13日 放送

狙いすぎて「渡る世間は肉ばかり」

マツコ&みの嵐
シマムラ製 1000円
キン肉マンパーカー

KKB「ふる熱人」の話し

実は・・・

田代がお茶の間に流れた日

鶴丸小150周年用の撮影日、鹿児島のテレビ局全社が訪れた。およそ25名のスタッフの中に1人異彩を放つ方が。KKBのチーム責任者N氏だ。「自分は何よりも田代のことに興味がある」その言葉を聞いた瞬間田代メジャーへの扉の鍵がガチャッとアンロックされる音がした。田代トークが弾む中、ドローンを飛ばすという情報を耳にした他局のスタッフがドローン映像を欲しがる欲しがる。飛ばしても画質の保証は全くない。たかが4万円程度の機体に期待するのはちょっと・・・。田代トークと欲しがるトークが交錯し、ちょっとした聖徳太子状態だった。そこからカメラを持ったN氏の密着が始まりドキュメンタリー番組をバリバリに意識した私はドキュメンタリー風にしゃべり、歩きドローンを飛ばす。だが後に使用されたのはドローンを飛ばす時のシーンだけだった。構成が固まっていない場合の撮影というものは大半が保険であり、全映像のいい所を構成に当てはめていく。自分はそれがわかっていたから何も問題はなかった。

11月8日 収録（雨上がりの晴れ）

ふる熱人、アナウンサーとの出会いのシーンは自宅玄関前でと聞いていたため、庭の見苦しく伸びた木の枝を伐採し、草を刈り、前日の雨でできた水たまりの水を早朝から取り除き準備オーケー。局のスタッフが到着しディレクターが辺りを見渡しこう言った。「うん、出会いのシーンは運動広場で撮りましょう！」ズコーッ。ま、実際ズッコケてはいないが気持ちは結構ズッコケた。先に自宅の部屋で作業風景撮影が行われ編集画面にはわざと次のブラック劇場で制裁されるシーンのシンサクを表示させ、これをお茶の間に流す事で事前公開処刑を狙った。実際番組ではシンサクとヤスノリ園長がセットで公開処刑されていた。運動広場に移動し、アナウンサーとのトークが始まった。放送された5倍ぐらいの量と時間のトークが行われたが、ジョーク交じりのものは一切使われず、テレビに映っていたのは、胸に「肉」と書かれたパーカーを着た真面目な事を言うただの男だった。番組を面白くしようと勘違いした素人丸出しの痛々しい思考はまるで素人ユーチューバーのようであり、番組の趣旨である「キッズのパワーで集落を甦らせる」というテーマに気付かず、婦人部Jさんのコメントに「こんな綺麗な方にそんなに褒められるともっと頑張っちゃいますよ！」と言い放ったシーンはバッサリいかれて当然なのだ。無駄にカメラを回させてしまった事をお詫びしたい。

じゃなくて話しを戻そう。場所を鶴丸小へ移し、途中で実行委員長のK氏登場。彼のコメントに対し「こんなイケメンにそんなに褒められるともっと頑張っちゃいますよ！」と言い放ったシーンは勿論バッサリいかれていた。そして最後に言った今後の目標「田代を日本一の夏祭りにする」。これはテレビ用のサービスではなく、3年程前から実際に公言しており、可能であると確信している。日本一の基準は全国ネットで取り上げられ、芸能人がワイプで「すげー」と言った時王手となり、その後の開催日に上市来が交通渋滞で麻痺し、会場がてんやわんやなり、ステージ上で「本日の夏祭りは中止します」と涙を流しながら片膝をつきマイクをそっと置いた瞬間達成となる。できれば片膝マイク無しの日本一を目指したい。今回の「ふる熱人」は鶴丸小の生中継を前後に構成された特別仕様。日本一へ一歩踏み出せたのはKKBの局のお方々のお陰であり本当に感謝している。鶴丸マッピングのリハーサルの際にN氏が言った。「田代夏祭りはナニコレ珍百景でいけるのでは」と。日本一は確実に近づいている。

時を戻そう

激難 高画質 インターネット生配信初心者に告ぐ

「成功のポイントは機材ではなく環境と経験」

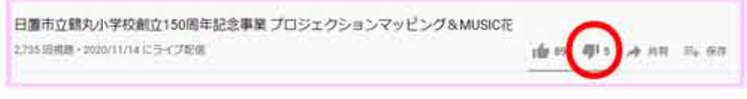
最後の決めポーズ「頑張ります！」

この決めポーズがツボにはまった森アナは自身の「頑張って下さい」が言えなくなりテイク6ぐらい行った。頭の斜め具合と目がホラーっぽかったらしい。その見方でいくと実際の映像で必死に笑いをこらえている森アナの様子がわかる。

KKBアナウンサー 森ちゃん
「絶対に笑ってはいけない ふる熱人収録」
森ちゃんアウト〜

実は有り難いアンチのバッドマーク

どの世界にもアンチは存在する。実はこのバッドマークのおかげでもっとやってやろうというパワーになる。これまで向上できたのは一定数のアンチのおかげであり今後もお願いしたい。本当に感謝している。



ふる熱人 KAPLI版

KKB 動画アプリ KAPLI（カプリ）

地上波放送と時間差でアプリ用の生中継も行われた。内容はほぼ同じだが、時間制限が無い為たくさんしゃべっていいという緩さもあり気持ちよくできた。現場では見えない視聴者がどこかで見ていると思うと何とも言い難い「とても良質な興奮」状態にはまる。収録から生中継まで貴重な体験と最高に楽しい日々を送る事ができた。テレビは本当に楽しい。

YouTube JP 検索 鶴丸 150

Youtubeでご覧になれます。

スチロールカバーが守った！

火の粉で貫通

無傷のプロジェクターに
胸を撫で下ろした

15日の15時半ごろ

雲をつかむような話しというほどでもないが、遠見番山テレビ塔てっぺんに引っ掛かった風船をつかむような話し

農業IOT化促進▶ローカル５G免許取得▶農村サイバー化▶人口増